

安全安心まちづくり検討分科会
報告書

平成24年3月

海津市まちづくり委員会

安全安心まちづくり検討分科会

1. はじめに

近年、全国的に犯罪の広域化、悪質化が一層加速し、子どもや高齢者など、より弱い立場の人が被害者となる傾向があります。

当市においては、各地域での自主防犯ボランティア団体の結成や青色回転灯装着車両によるパトロール隊の発足など防犯意識の高まりにより、犯罪発生件数（市内全刑法犯認知件数）は、平成21年は532件、平成22年は387件と年々減少しつつありますが、未だ憂慮すべき事態が続いています。

海津市総合開発計画策定時に実施した市民アンケート調査において、犯罪・風紀などの防犯対策は最優先課題として位置付けられており、積極的な対応が必要とされています。

安全安心の確保は、警察など行政の取組だけによって果たされるものではなく、市民一人ひとりの主体的な意識・行動はもとより、「地域の安全は地域で守る」といった地域住民が互いに力を合わせることによる地域の自主的な取組がなければ実現し難いものになってきています。

しかしながら、近年の少子高齢化、核家族化といった社会情勢の変化等により、地域住民同士のつながりや力を合わせて何かに取り組もうといった連帯意識の希薄化が進み、現代社会において「地域住民同士の結びつきをいかに強め、活性化していくか」ということが大きな課題になっています。

安全安心まちづくり検討分科会では、市民が安全で安心して暮らすことができるよう「防犯」をテーマとし、市民と行政が一緒になって“安全安心なまちづくり”について地域における問題や課題に対し検討する必要があると考えます

2. 地域防犯の現状と課題

海津市は岐阜県の南西部にあり、西部南部は三重県に東部は愛知県に隣接し東海三県の結束点に位置しています。本市の中央には揖斐川が流れ、その以東は平野が広がり、西側に急峻な養老山地がありその裾野から広がる扇状地と平野となっています。

本市は、幹線道路として国道 258 号線が養老山地に沿って南北に縦断し、そこから主要地方道津島南濃線や北方多度線などが隣県へ繋がっています。また市内にはお千代保稲荷をはじめ国営木曽三川公園や海津温泉、月見の里南濃など観光施設が多くあり、休日には多くの観光客で賑わっています。

本分科会からみる地域防犯の現状は、防犯協会による地域安全活動として、海津市内小・中・高校生に防犯グッズの配布、連れ去り防止講話の実施、子ども 110 番の家に対する支援などが行われています。また市民には啓発活動として地域安全ニュースの市内全戸配布、各種防犯関係のチラシの作成配布、年末年始特別警戒の実施などを行っており、育成活動として地域安全指導員の育成などの活動を年間を通じて行われています。

地域ボランティア団体の防犯活動は、南濃北部地区防犯パトロール隊・NPO法人海津おやじの会・NPO法人セーフティサポートコミュニティ平田などが下校時の見守り活動、青パト車両による巡回活動などを行っており、スクールボランティア・安全サポーター、海津市更生保護女性会、高須生活学校などがあいさつ運動による児童生徒への声掛け活動や下校時の見守り活動などを行っています。(註 地域ボランティア団体一覧表参照)

本市では、交通安全指導員の巡回や行政無線を利用した小学生下校の周知、消防車による夜間警戒パトロール、自治会からの要望による防犯灯の設置などが行われています。

このように各地域で各団体が様々な防犯活動を実施していますが、本分科会の検討では、次のような課題が上がりました。

- ① 同様の団体や市及び警察との連携がないため、他団体の防犯活動や他地域で発生した犯罪に関する情報の共有ができないことから、同様の団体と市、警察署とどのように連携するか。
- ② 防犯活動を実施しているが、地域住民への認知が広まっていないため、防犯意識やボランティア活動への熱意に地域差があることから、防犯意識の向上や地域住民を防犯活動へ促していくにはどうしたらよいか。
- ③ 観光施設がある地域ではたくさんの観光客が入ってきており、住宅地域ではご近所付き合いが不足しているため、いわゆる“知らない人”が多くなっていることから、地域住民との意思疎通をどのようにおこなったら良いか。

- ④ 地域によっては、防犯灯や街路灯が少なく小中学生の下校時には暗い個所があることや、市街地や公共施設に防犯カメラが少ないことから、施設の設置をどのように進めていくか。
- ⑤ 防犯活動を行う活動資金が乏しいため、活動内容の拡大ができないことから、活動資金をどのように確保するか。

以上の課題を検討した結果、以下のとおりとなりました。

地域防犯活動は、以前から各団体によって進められており防犯効果は出てきています。しかしさらに地域防犯活動を効果的に進めていくためには、個々の団体で行っている活動を協力し合える集合体にするため、協議会などの団体にする必要があります。

またこの協議会を基に、地域住民へこれらの防犯活動を周知するとともに、防犯活動の意義や利点を説明し、地域にとって何が必要なのかを地域住民と行政と共に協議し協働で解決していくことが重要です。

註 地域ボランティア団体一覧表

NPO法人セーフティサポートコミュニティ平田
(活動内容) 消防車にて夜間パトロール、防災の勉強会、地域の避難場所の明示及び点検修繕、耐震金具取り付け(社協共催)など
NPO法人海津おやじの会
(活動内容) 部活動や地域クラブのコーチ指導、中学生のために商業体験学習の実施、町内のパトロール活動、ホームページの更新 など
海津市更生保護女性会
(活動内容) 地域犯罪予防・犯罪更生援助。あいさつ運動の実施、非行防止を目的に月1回実施。
高須生活学校
(活動内容) 毎週月曜日に高須小学校で下校時の声掛け
海津救急支援ボランティアチーム
(活動内容) 毎月1回(9日)に救急支援に関する講習会を実施。
心をつなぐ会
(活動内容) 地元地域ボランティアへの参加。安全で住み良い地域まちづくりのため防犯パトロールを実施。南濃町津屋・志津で活動

南濃北部地区防犯パトロール隊
(活動内容) 地域防犯活動に賛同する地域住民で結成。(南濃町北部地区在住・在勤) 週1回程度、南濃北部地区の防犯パトロールを実施する。
奥条地区城山小スクールボランティア
(活動内容) 奥条地内の通学道路で見守り声かけ活動を実施。主にPTAよりの希望地点7ヶ所で見守りを行う。
海津市教育委員会スクールボランティア
(活動内容) 児童登下校時の見守り。実施校:大江小・石津小・下多度小・城山小・高須小・吉里小・東江小・城南中
安全サポーター
(活動内容) 児童・生徒の登下校時の見守り(月5回)。市がシルバー人材センターおよび個人に委託。各校に1人。
住み良い地域づくりを考える会
(活動内容) 防犯活動・下校時の見守り・夏祭りの企画。南濃町城山地区で活動
海津地区防犯協会
(活動内容) 小中高校生に防犯グッズの配布・防犯パトロールなどの地域安全活動、地域安全ニュースの配布などの啓蒙活動、地域安全指導員の育成など
わたげ
(活動内容) 警察と連携して防犯活動。市内各幼稚園・保育園・子ども園で実施
民生委員児童委員協議会
(活動内容) 毎月1回訪問 独居老人(65歳以上)を対象に見守り活動
海津市福祉推進委員会
(活動内容) 高齢者(75歳以上)のみ世帯・一人暮らし高齢者(65歳以上)世帯・障がい者を対象に見守り活動

3. 提案

本分科会では、各課題の解決方法を通じて海津市全体の安全安心まちづくりの構想を検討しました。

安全安心の確保は、警察など行政の取組だけで果たされるものではなく、市民一人ひとりが防犯意識を持つことが大切です。また地域では地域住民が互いに協力し合う地域の自主的な取組がなければなりません。

市民一人ひとりに対して防犯意識の向上を促すためには、地域安全に関する情報の提供や防犯教育を推進することや地域ボランティア団体の活動状況を周知する必要があります。

地域住民が自主的な地域防犯活動に取り組むためには、地域内交流を行い地域防犯の課題を抽出し共通認識とする必要があります。そのためには、地域住民に対して、現在各団体が実施している活動内容を周知する啓発活動や、各団体が主体的に行っている地域パトロールや声かけ運動などの防犯活動に地域住民の参加を促す努力をする必要があります。

さらに地域防犯活動を効率的に実施するため、各小学校区を単位とした地域の自治会や各団体の連携を促進させ、防犯活動に限らず地域にとって有益な公共的活動を行うことができる、地域ぐるみで構成される協議会的な地域協働体を設置する必要があります。

また現在個々で活動している状態では不審者などの情報を各団体で共有することができないことや、他の団体がどこでどのような活動をしているかわからないため、市内の各防犯団体を連携させる必要があります。各団体間の連携を促すため、行政、警察、各防犯団体の代表、地域住民の代表、郵便局・農協・銀行などの企業による、防犯活動に関係する団体で構成された組織を設置する必要があります。

安全安心まちづくり検討分科会では次のように提案します。

提案1 各小中学校や地域などにおいて、地域住民へ犯罪被害の当事者意識を高めるため、情報モラル教育や防犯教育などの啓発の推進をすること。

○住民一人ひとりが防犯意識を高め、犯罪の被害に遭わないようにするためには、窃盗や振り込め詐欺など犯罪被害の実例を用いた防犯教育や、携帯電話などによる出会い系サイトを通じた犯罪や個人情報情報の漏えいなど情報化社会における安全に生活するための危険回避の方法の理解やセキュリティの知識・技術などの情報モラル教育など、防犯に関する啓発活動を小中学校や各地域で各年齢層に行

い「自分の身は自分で守る」という自己防衛の原則を理解させる必要があります。

提案2 市民全体が防犯情報の共有化を出来るようにするため、緊急メール配信システムの利用の促進をすること。

○現在PTAなどで利用されている、不審者の声掛け事案や犯罪発生の事案などを伝える緊急メール配信システムを、市内住民へ広く紹介し、市民全体が犯罪などの情報の共有化ができるように利用の促進を図る必要があります。

提案3 海津市全体の防犯活動を統括し推進する組織として協議会を設置し、各小学校区には防犯活動を行う地域安全協議会（仮称）や、防犯活動に限らず地域にとって公共的な活動を行う地域協働体を設置すること。

ただしすでに地区社会福祉協議会が設置されている地域は、地区社協に地域ボランティア団体などを含めて防犯関係の部会を設置し、地域の実情に合わせて弾力的に対応すること。

○現在防犯活動は、地域パトロールや登下校時の見守り活動、あいさつ運動による声掛けなど様々な方法で、各地域で個々の団体により行われております。

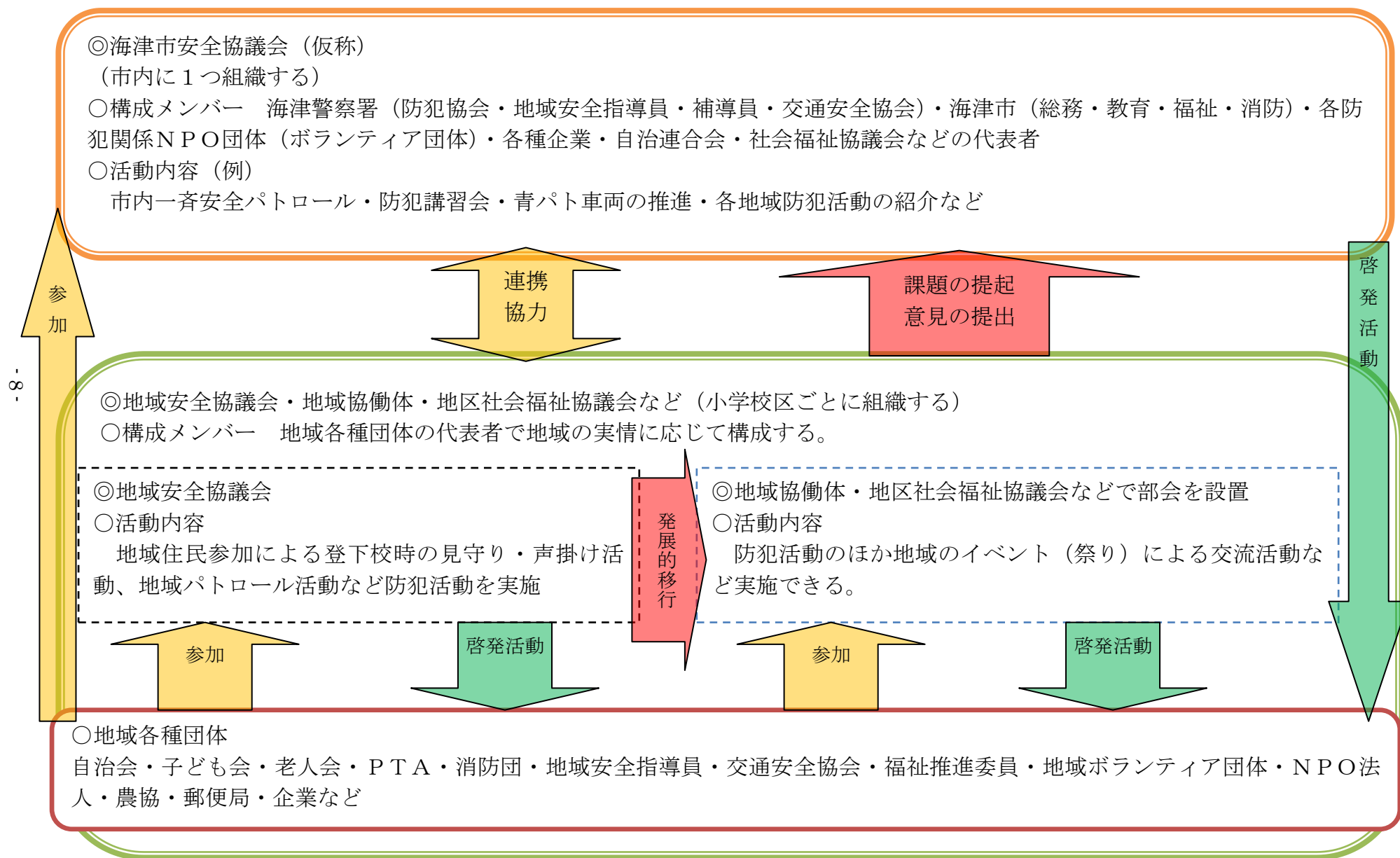
○これらの個々の活動を連携し、相乗的により大きな取組みに変えその効果を向上させることや、市民に対して広く啓発活動を行い、防犯の意義や利点を理解させることを目的に、海津市全域を統括する協議会などを設置する必要があります。またこの協議会を設置することにより統一的に団体間の連携が図られ、市内一斉地域パトロールや青パト車両の推進などの効果的かつ具体的な行動計画を立案する可能性があります。（別紙1）

○各地域においては、地域パトロールや見守り活動などの直接的な防犯活動や小中学校の通学路について安全上の検討、地域内の防犯灯・街路灯の防犯設備設置の検討、地域住民の交流などの公共的な活動をより効果的に実施するために、小学校区を単位として自治会、防犯団体、消防団、銀行・郵便局・農協や地元企業などの各種団体で地域の実情に合わせた構成をする、地域安全協議会（仮称）や地域協働体を設置する必要があります。（別紙2）

- 地域安全協議会（仮称）や地域協働体では、地域住民に趣旨や目的を説明し、地域内にある無人駅・地下道・空き家・観光地・通学路で暗がりとなる地域の不安な場所や、登下校時の見守り、高齢者のみ世帯や障がい者世帯の安否など、地域の課題を懇談会やワークショップを開催しながら抽出して、地域の共通認識にする必要があります。
- 組織を円滑に運営するため、広報誌の活用や地域交流活動を通じて、地域住民に目的や内容を理解していただくことや、参加者個人の負担が少なくなるように内容を工夫するなどの配慮をする必要があります。
- 地域で検討された活動を効率よく実施するため、各活動内容に熟知した団体を主管団体に決定し、地域住民に活動実施について周知し地域住民の参加を促していくことにより、地域全体で取り組める体制にする必要があります。

別紙 1

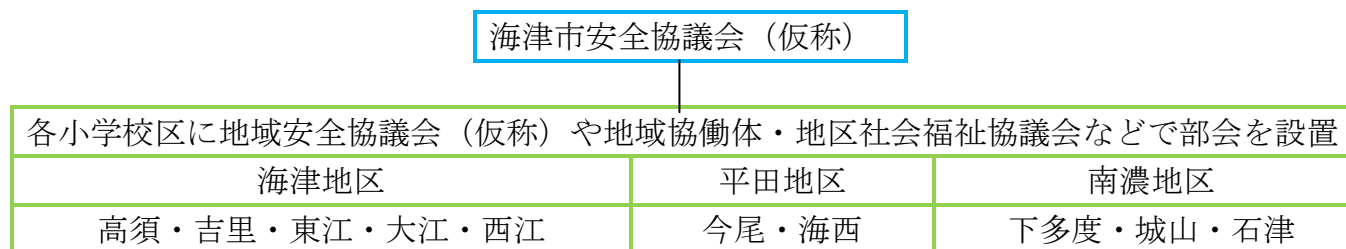
海津市安全安心まちづくり構想（イメージ）



別紙 2

海津市安全安心まちづくり構想 組織及び活動内容について

○組織について（組織図）



○各小学校区における防犯活動について

- ・組織作りには自治会・老人会・子ども会・各種ボランティア団体などを集めて検討する。
- ・各小学校区でどのような課題があるか、現地調査やワークショップなどで検討し課題を抽出する。
- ・地域住民だけでなく、地域の郵便局・J A・銀行などの地元企業と協力連携する。
- ・活動内容など（例）

活動項目	活動内容	活動主体
子どもの見守り活動	登下校時にあいさつなどの声掛け	PTA・民生児童委員・子ども会 育成会・ボランティア団体など
高齢者の見守り活動	高齢者世帯などへの訪問など	民生委員・老人会・福祉推進員・ ボランティア団体
防犯教育・情報モラル教育の推進	各年齢層へ事例を用いた教育	警察・自治会・老人会・子ども 会・ボランティア団体など
不審者情報発生個所・無人駅・地下道・ 空き家などのパトロール	青色回転灯パトロール車・消防車などを活用した 警戒活動	警察・自治会・ボランティア団 体・地元企業など
地域交流活動	三世代ふれあいイベントなど	自治会・老人会・子ども会・地 元企業など
地域美化活動	一斉美化活動など	自治会・老人会・子ども会・地 元企業など

4. 安全安心まちづくり検討分科会の経緯

第1回 平成22年9月6日（月）総合福祉会館「ひまわり」研修室2

- ① 「安全・安心なまちづくりについて」
岐阜県環境生活政策課 臼田課長補佐
- ② 「海津市内における犯罪状況について」
海津署 木澤生活安全課長

第2回 平成22年12月3日（金）海津市海津庁舎委員会室

- ① 「防犯ガラスについて」
岐阜県防犯設備協会 山田硝子商事(株) 代表取締役 山田康雄
- ② 「防犯ガラスの強度について」体験学習

第3回 平成23年1月21日（金）総合福祉会館「ひまわり」研修室2

- ① 地域安全マップの作成
Aグループ 平田公園、南濃庁舎前の歩道、空き住宅
Bグループ 市内無人駅、お千代保稲荷神社

第4回 平成23年3月4日（金）総合福祉会館「ひまわり」研修室2

- ① 市内現場視察
平田公園、南濃庁舎前の歩道、空き住宅、市内無人駅、お千代保稲荷神社
- ② グループワーク

第5回 平成23年6月24日（金）海津市海津庁舎委員会室

- ① 地域防犯の現状と課題について

第6回 平成23年7月15日（金）総合福祉会館「ひまわり」研修室2

- ① 課題の共有と提案の方向性について

第7回 平成23年10月7日（金）海津市海津庁舎委員会室

- ① 各団体間の連携を進めるためには

第8回 平成23年11月11日（金）海津市海津庁舎委員会室

- ① 連携組織の構成と役割
- ② 住民参加を促すための取組

第9回 平成23年12月20日（火）海津市海津庁舎委員会室

- ① 海津市全体の安全安心まちづくり構想
- ② 動きやすい組織と役割

第10回 平成24年1月31日（火）海津市海津庁舎委員会室

- ① 報告書の素案について

第11回 平成24年2月27日（月）総合福祉会館「ひまわり」研修室1

- ① 報告書について

5. 安全安心まちづくり検討分科会委員名簿

公募市民	大 倉 金 次
公募市民	白 井 春 幸
NPO 法人 海津おやじの会	樋 口 幸 二
NPO 法人 セーフティサポートコミュニティ平田	丹 羽 公 成
南濃北部地区防犯パトロール隊長	藤 田 良 博
海津地区交通安全協会長	堀 田 行 雄
海津地区防犯協会副会長	牧 野 光 子
海津市自治連合会代表	宮 脇 信 幸
海津市社会福祉協議会	水 谷 英 基
海津市更生保護女性会代表	中 島 雅 子
高須生活学校代表	加 藤 佳余子
総務課	伊 藤 裕 紀 (平成22年度)
〃	神 田 勝 広 (平成23年度)
福祉総務課	高 橋 豊 (平成22年度)
〃	浅 野 貴 康 (平成23年度)
学校教育課	吉 田 太 (平成22年度)
〃	宇 佐 美 伸 幸 (平成23年度)
予防課	加 賀 誠 (平成22年度)
〃	戸 島 正 (平成23年度)
海津警察署 生活安全課長	木 澤 博 孝 (平成22年度)
〃 〃	有 井 隆 (平成23年度)
岐阜経済大学 教授	鈴 木 誠 (平成22年度)
〃 准教授	菊 本 舞 (平成23年度)